2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　ポラリス・ホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3010　　ＵＲＬ　https://www.polaris-holdings.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）田口 洋平
問合せ先責任者　（役職名）取締役 兼 最高財務責任者　（氏名）細野 敏　　ＴＥＬ　03-5822-3010

半期報告書提出予定日　2026年11月16日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満四捨五入）

１．2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	24,823	8.0	1,423	△26.7	861	△36.4	484	△55.8
2026年３月期中間期	22,988	122.7	1,940	55.8	1,353	40.7	1,096	23.2

（注）包括利益　2027年3月期中間期　423百万円（△54.7%）　2026年3月期中間期　935百万円（△16.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	2.07	－
2026年３月期中間期	4.69	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	64,935	31,441	48.4
2026年３月期	69,205	32,156	46.5

（参考）自己資本　2027年3月期中間期　31,441百万円　2026年3月期　32,156百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	5.00	5.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	12.4	4,200	3.9	3,000	3.6	1,600	△65.2	6.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	234,072,926株	2026年３月期	233,914,680株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	－株	2026年３月期	1,754株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	233,948,772株	2026年３月期中間期	233,787,945株

※　第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況…… 2
（２）当中間期の財政状態の概況…… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 10

１．経営成績等の概況

当中間連結会計期間（2026年4月1日から9月30日）における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、中東情勢の影響や物価上昇の継続などから、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

ホテル業界においては、日本政府観光局（JNTO）の公表によると、2026年4月から9月までの訪日外客数は累計約2,005万人（前年同期より約107万人減少、8月及び9月は推計値）となりました。市場別にみると、韓国、台湾、メキシコ、中東地域では、7月から9月まで3か月連続で同月として過去最高を記録するなど、訪日需要の多様化が進展するとともに、訪日客の構成にも変化が見られました。一方で、中国からの訪日客の減少が続いたことに加え、中東情勢による航空券価格の上昇や航空便の減便、台風による欠航などの影響もあり、8月及び9月の訪日外客数は前年同月を下回りました。また、観光庁の宿泊旅行統計調査（速報値）によると、同期間の外国人延べ宿泊者数は7,945万人泊（前年同期比10.3%減少）、日本人延べ宿泊者数は2億3,896万人泊（前年同期比3.9%減少）となりました。

このような環境のもと、当中間連結会計期間における売上高は、24,823百万円（前年同期比8.0%増加）となったものの、営業利益は1,423百万円（前年同期比26.7%減少）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、繰延税金資産の取り崩しに伴う法人税等調整額（損）296百万円の計上により484百万円（前年同期比55.8%減少）となりました。また、当社が重要な経営指標として重視する調整後中間純利益は1,433百万円（前年同期比25.8%減少）となりました。

（１）当中間期の経営成績の概況

連結業績は次の通りです。　（単位:百万円）

項目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	対前年同期比
売上高	22,988	24,823	8.0%
販売費及び一般管理費	20,135	22,370	11.1%
（内、のれん償却費）	652	652	－
営業利益	1,940	1,423	▲26.7%
税金等調整前中間純利益	1,353	841	▲37.9%
法人税等調整額	182	296	62.6%
親会社株主に帰属する中間純利益	1,096	484	▲55.8%
調整後中間純利益	1,930	1,433	▲25.8%

（注）1. 金額及び比率について、四捨五入処理しております。
2. 当社は、事業特性及び収益構造を踏まえ、親会社株主に帰属する中間純利益にのれん償却費、法人税等調整額を加算した「調整後中間純利益」を経営指標として重視しております。

当社グループは、2026年5月に公表した「中期経営計画2030」において、「外部環境の成長のみに依存しない、多層的なストック収益モデル」の構築を目指しております。成長戦略の柱として掲げているのは、既存運営ホテルの収益力向上と、新規出店の拡大を通じた継続的な収益基盤の強化であります。

当中間連結会計期間においては、前年の4月から10月にかけて開催された大阪・関西万博に伴う宿泊需要の反動や、中国からの訪日客の減少などの影響を受け、国内比較対象ホテル（67ホテル）のRevPARは11,307円（前年同期比0.6%減少）となりました。なお、9月単月では、関東及び近畿以外のエリアでRevPARが前年同月を上回り、国内比較対象ホテルのRevPARは前年同月比5.2%増加しました。

こうした中、前期及び当期に開業したホテルの収益寄与により、売上高は前年同期を上回りました。一方、営業利益は、前年の大阪・関西万博開催に伴う需要の反動等による近畿エリアでの減収や、既存ホテルにおける運営費用の増加などにより、前年同期を下回りました。また、2026年7月28日に発生した令和8年熊本地震により、「KOKO STAY 熊本八代」は建物等への被害が発生し、休業しております。

事業セグメント別の経営成績は次の通りです。

＜ホテル運営事業＞

当中間連結会計期間におけるホテル運営事業の経営成績については、売上高は24,720百万円（前年同期比7.6%増加）、営業利益は1,936百万円（前年同期比20.3%減少）となりました。

当中間連結会計期間における主な新規開業ホテルは次の通りです：

・2026年4月　「KOKO HOTEL 仙台駅前Central」
・2026年6月　「SONO Moon Nagoya」
・2026年6月　「KOKO HOTEL Premier 東京ベイ幕張」
・2026年7月　「KOKO HOTEL 札幌すすきの 2nd」
・2026年7月　「KOKO HOTEL Residence 東京押上」

また、当中間連結会計期間における新規出店契約は20件となり、前年同期の4件を上回りました。

この結果、2026年9月30日現在の運営ホテル数は、契約締結済みの新規出店予定を含め134ホテル、客室数は18,841室となっております。

＜ホテル投資事業＞

当中間連結会計期間におけるホテル投資事業の経営成績については、売上高は103百万円（前年同期は10百万円）、営業利益は103百万円（前年同期は10百万円）となりました。

2025年5月にスポンサーであるスターアジアグループと共同出資した「KOKO HOTEL 大阪なんば千日前」は安定的に運営を進めております。当中間期において期首より継続して売上・利益に寄与していることなどから、前年同期に比べ増収増益となりました。

また、2026年3月には、スターアジアグループとの共同投資で、「KOKO HOTEL Premier 東京ベイ幕張」の土地・建物を対象とする信託受益権を保有する特別目的会社に対して10億円の匿名組合出資を行っております。

さらに、2026年9月30日付「兵庫県神戸市のホテル物件取得に向けた売買契約締結に関するお知らせ」で公表しました通り、当社単独でのホテル用不動産への投資として、同物件の取得に向けた売買契約を締結いたしました（2027年6月取得予定）。

（２）当中間期の財政状態の概況

①財政状態の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比較して2,841百万円減少し、11,094百万円となりました。これは主として、長期借入金の返済及び配当金の支払い等により、現金及び預金が減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,429百万円減少し、53,842百万円となりました。これは主として、のれんの償却、繰延税金資産の取り崩し、並びに建物及び構築物、使用権資産、リース資産における減価償却などによるものです。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末と比較して34百万円増加し、9,205百万円となりました。これは主として、流動負債のその他が増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して3,589百万円減少し、24,290百万円となりました。これは主として、返済に伴う長期借入金の減少及びリース債務の減少などによるものです。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末と比較して715百万円減少し、31,441百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する中間純利益を計上した一方、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における当社グループの現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ3,357百万円減少し、3,803百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,639百万円のプラス（前年同期は2,565百万円のプラス）となりました。主な増加要因は、税金等調整前中間純利益841百万円、減価償却費886百万円、のれん償却額652百万円などによるものであります。主な減少要因は、利息の支払額551百万円、未払費用の減少295百万円などによるものであります。営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期と比べ927百万円減少しており、これは主として、税金等調整前中間純利益が513百万円減少したことに加え、その他の項目が622百万円減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、344百万円のマイナス（前年同期は692百万円のマイナス）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出275百万円、敷金及び保証金の差入による支出73百万円などによるものであります。前年同期と比べ支出が348百万円減少しており、これは主として、前年同期にあった投資有価証券の取得による支出500百万円が当中間連結会計期間にはなかったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、4,648百万円のマイナス（前年同期は1,900百万円のマイナス）となりました。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出3,135百万円、配当金の支払額1,168百万円、リース債務の返済による支出345百万円などによるものであります。前年同期と比べると支出が2,748百万円増加しており、これは主として、長期借入金の返済による支出が2,222百万円、配当金の支払額が468百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

当社グループの資本の財源及び資金の流動性については、経営環境や事業の状況を勘案の上、将来キャッシュ・フローの状況を把握し資金の管理を行っており、資金需要が生じた場合には、主として金融機関等からの借入れにより資金調達を行う予定であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年5月13日付「2026年3月期決算短信」で公表しました見通しに変更はありません。

また、配当予想につきましては、2026年6月24日付「株主還元方針の見直し及び2027年3月期配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」で公表しました通り、株主還元を見直し、2027年3月期の配当予想を5円から10円へと上方修正しており、変更はありません。

〔株主還元について〕

	変更前	変更後
方針	業績連動かつ安定的な 配当の維持・向上	(同左)
配当性向算定基準	当期純利益	調整後当期純利益 (当期純利益＋のれん償却費＋ 法人税等調整額)
連結配当性向目標	30%以上	50%以上

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,515,563	4,624,318
売掛金	4,500,265	4,408,305
原材料及び貯蔵品	247,077	237,552
その他	1,704,142	1,856,058
貸倒引当金	△32,815	△32,677
流動資産合計	13,934,232	11,093,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,154,222	9,868,610
土地	502,292	502,292
リース資産（純額）	7,116,798	6,970,115
使用権資産（純額）	2,665,196	2,557,274
建設仮勘定	22,313	53,680
その他	572,300	515,027
有形固定資産合計	21,033,121	20,466,998
無形固定資産		
のれん	24,446,452	23,794,547
その他	65,463	63,385
無形固定資産合計	24,511,915	23,857,931
投資その他の資産		
投資有価証券	1,537,210	1,592,790
敷金及び保証金	2,627,585	2,689,909
繰延税金資産	4,785,124	4,481,798
その他	775,826	752,442
投資その他の資産合計	9,725,745	9,516,940
固定資産合計	55,270,781	53,841,869
資産合計	69,205,013	64,935,426

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	428,329	439,177
１年内返済予定の長期借入金	2,009,274	1,857,634
未払金	3,202,580	3,166,887
未払法人税等	76,095	90,556
株主優待引当金	27,700	18,440
賞与引当金	178,577	183,805
その他	3,248,396	3,448,342
流動負債合計	9,170,951	9,204,842
固定負債		
長期借入金	12,679,284	9,694,363
資本性劣後借入金	1,800,000	1,800,000
リース債務	12,367,233	12,010,873
退職給付に係る負債	55,863	59,438
資産除去債務	260,668	267,141
その他	715,456	457,942
固定負債合計	27,878,504	24,289,757
負債合計	37,049,455	33,494,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,640	42,400
資本剰余金	21,024,524	21,037,275
利益剰余金	10,944,714	10,259,395
自己株式	△3,009	－
株主資本合計	31,992,869	31,339,071
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	162,689	101,756
その他の包括利益累計額合計	162,689	101,756
純資産合計	32,155,558	31,440,827
負債純資産合計	69,205,013	64,935,426

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	22,987,734	24,822,701
売上原価	912,196	1,029,692
売上総利益	22,075,538	23,793,009
販売費及び一般管理費	20,135,195	22,369,903
営業利益	1,940,343	1,423,107
営業外収益		
受取利息	11,871	17,631
助成金収入	200	－
為替差益	3,131	－
受取保険金	30,897	－
その他	19,921	11,235
営業外収益合計	66,019	28,867
営業外費用		
支払利息	619,637	550,924
支払手数料	3,830	3,528
その他	29,452	36,438
営業外費用合計	652,919	590,889
経常利益	1,353,443	861,084
特別損失		
固定資産除却損	－	20,190
特別損失合計	－	20,190
税金等調整前中間純利益	1,353,443	840,894
法人税、住民税及び事業税	75,131	60,174
法人税等調整額	182,288	296,473
法人税等合計	257,420	356,648
中間純利益	1,096,023	484,246
親会社株主に帰属する中間純利益	1,096,023	484,246

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	1,096,023	484,246
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△160,865	△60,932
その他の包括利益合計	△160,865	△60,932
中間包括利益	935,158	423,314
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	935,158	423,314

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,353,443	840,894
減価償却費	867,406	886,010
固定資産除却損	－	20,190
のれん償却額	651,905	651,905
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△6,984	△129
株主優待引当金の増減額（△は減少）	12,150	△9,260
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	1,155	3,575
賞与引当金の増減額（△は減少）	△34,483	5,228
受取利息及び受取配当金	△11,871	△17,631
支払利息	619,637	550,924
支払手数料	3,830	3,528
売上債権の増減額（△は増加）	△195,629	88,153
棚卸資産の増減額（△は増加）	6,667	8,734
仕入債務の増減額（△は減少）	△111,825	12,720
未払金の増減額（△は減少）	57,813	△37,020
前受金の増減額（△は減少）	△60,818	80,980
未払又は未収消費税等の増減額	△132,370	△126,140
前払費用の増減額（△は増加）	△17,720	△39,711
立替金の増減額（△は増加）	70,361	△49,678
未払費用の増減額（△は減少）	△38,738	△295,191
その他	261,851	△359,973
小計	3,295,781	2,218,108
利息及び配当金の受取額	8,292	17,243
利息の支払額	△641,954	△551,118
法人税等の支払額	△96,628	△45,511
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,565,490	1,638,721
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△103,740	△275,271
無形固定資産の取得による支出	△1,613	△6,908
敷金及び保証金の差入による支出	△89,902	△73,055
敷金及び保証金の回収による収入	5,918	9,300
投資有価証券の取得による支出	△500,000	－
その他	△2,593	1,848
投資活動によるキャッシュ・フロー	△691,931	△344,087
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△913,005	△3,135,199
リース債務の返済による支出	△287,220	△345,076
配当金の支払額	△699,966	△1,167,954
その他	△17	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,900,209	△4,648,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,345	△3,671
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△48,994	△3,357,265
現金及び現金同等物の期首残高	7,195,869	7,159,918
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,146,874	3,802,653

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

新株発行

当社は、2025年6月26日開催の第151回定時株主総会にて決議された譲渡制限付株式報酬制度に基づき、割当対象者に対する普通株式の新株発行を行いました。これにより資本金および資本剰余金がそれぞれ15,760千円増加しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他	合計
	ホテル運営事業	ホテル投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,978,145	9,589	22,987,734	－	22,987,734
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	22,978,145	9,589	22,987,734	－	22,987,734
セグメント利益	2,429,025	9,589	2,438,614	－	2,438,614

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,438,614
全社費用（注）	△498,271
中間連結損益計算書の営業利益	1,940,343

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他	合計
	ホテル運営事業	ホテル投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,720,134	102,567	24,822,701	－	24,822,701
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	24,720,134	102,567	24,822,701	－	24,822,701
セグメント利益	1,936,316	102,567	2,038,883	－	2,038,883

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,038,883
全社費用（注）	△615,777
中間連結損益計算書の営業利益	1,423,107

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。